

# 夢 広がる 2020東京

## ②ホストタウン

年の瀬が押し迫った12月26日、甘楽町役場の一室は笑い声に包まれていた。東京五輪・パラリンピックで中米ニカラグアのホストタウンを務める同町。ロドリゴ・コネル駐日大使が継続的な交流について提案すると、茂原庄一町長が「遠く離れた国だが、将来に向けて良い方向に行くのでは」と応じた。

東京大会の終了後に選手団が町を訪問する事後交流型の登録だが、「甘楽は素晴らしい場所」とすっかり気に入ったコネル大使は

### ニカラグアと甘楽 連携深化



甘楽町を訪問して茂原町長らと懇談するコネル大使(右)

頻繁に町を訪ねる。1月の甘楽中立志式や4月の武者行列への出席を予定しており、関係を深める。

#### ■足止めが縁

2019年8月に覚書を

交換。翌9月、野球のU18ニカラグア選手団が台風により成田空港で足止めされ、町が急ぎよ受け入れた経験が距離を縮めた。コネル大使は「甘楽の人々には一人の人間、友達として

接してもらっている。(五輪の)選手も同じように交流し、甘楽を大好きになって帰国してほしいと話す。

町内では、農業研修生の受け入れなどを行うNPO法人自然塾寺子屋が拠点を置く。過去に同国の研修生が滞在した縁で、ホストタウン登録を仲介した。機運を盛り上げようと、法人が運営するカフェで現地の料理やコーヒーを提供。矢島

亮一理事長は「交流を通じて子どもたちが甘楽の良さやルーツを知り、古里に誇りを持てる機会に」と期待する。

#### ■避難法を紹介

沼田市はドイツ・フュッセン市と姉妹都市提携を結び、東京五輪・パラリンピックのフェンシングチームの事前合宿を受け入れる。18年には世界選手権の代表チームが合宿で滞在して公開練習や交流会が開かれ、

すでに多くの市民が親しみを感じている。

同国は地震が少ない。日本で地震が発生した時に備え、選手に避難の仕方などを知ってもらおうと、沼田中の3年生が本年度の授業で英語のパンフレットを作製。12月に独フェンシング協会会長が同校を訪問した際に試作版を手渡した。

生徒会長の桑原徹成さんは「分かりやすいパンフレットになるよう意識した。学習を通じ、ドイツについて深く知ることができた」と振り返る。大会前後に交流予定の下級生に「選手を温かく応援し、結果を出せるサポートを」と託す。

グローバル化や地域活性化の観点から国が推進し、県内11市町村が登録するホストタウン。相手国を知り、古里の魅力を再発見する機会になっている。

# 古里 誇り 持つ 機会に

【メモ】国は、パラリンピック選手を受け入れる「共生社会ホストタウン」の登録も推進している。県内では11市町村のうち、みど

り(香港)、渋川(ニュージーランド)、富岡(フランス)の3市が登録。市民との交流や障害者スポーツ体験などを行う。